



2022年 2月15日
第140号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組 横浜 地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申第19号「相模線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ団体交渉を行う③

第9項 ワンマン運転に伴い各駅停車時分を拡大すること。

会社回答 ワンマン運転を実施するにあたり、評定時分を見直している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのように見直していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況とE131系に変わってからの状況を見て、停車時分と運転時分。つまり表定時分を見直している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ワンマン運転に特化して変更したわけではなく、現状を見ての変更と捉えて良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その通り。ワンマン運転特化ではなく、相模線の最適なダイヤということで見直し、サービス低下にならないようなダイヤにしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作が多くなり確実に実施すると実質の乗降扱い時分が少ない。作業に合わせて停車時分を変更する考えはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業列車での試験により把握している。無理のないダイヤにしていく考えである。
<ul style="list-style-type: none"> ・遅れが多く慢性的になった場合、ダイヤ改定を行うのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・致命的なことがなければ改定などは行わない。

第10項 停止位置不良時の取り扱いについて明らかにすること。

会社回答 必要な教育・訓練は実施している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ・通過扱いやドアコックを扱った乗降扱いなど現行の取り扱いを運転士一人で行うというは大変となる。教育は必要だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンマン運転に特化した変化点では、退行ができないので運転台交換が基本となる。それ以外は、基本的にはツーマン運転と同様の取り扱い。

第11項 E131系車両は運転台に死角が多いため、停止位置目標は運転士側の高い位置へ建植すること。

会社回答 現時点において、新たに停止位置目標を整備する計画はない。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ・停止位置目標が設置できない理由を示すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置を検討した結果できないという回答ではなく、設置する基準にないため設置の考えはない。
<ul style="list-style-type: none"> ・助手側に設置されている停止位置目標は全く見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貫通扉があるにせよE131系が高運転台でないため、現行のままと考えている。

第12項 ワンマン運転中の床下点検時に活用できるよう、設定した案内放送を繰り返すモードを追加すること。

会社回答 現時点において、案内放送装置を改修する計画はない。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ・駅間での長時間停車時の車外への降車しない案内放送は定期的に放送しなさいと指導されている。乗務員が誰もいなくなることを考えるとお客様の不安解消や安全の確保といった観点から自動放送で繰り返し放送する仕組みはつくりえないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常時放送ボタンが30パターンあり、ボタンを押すと1回流れて、車内ディスプレイにも4か国語で表示がされる。技術的には繰り返し設定はできる。繰り返し放送となると止めるという作業が出てくることや同じ文章がずっと流れるという課題がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・無いよりはあった方がいい。車掌の放送は適宜放送が求められる。放送が流れることで状況がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨は承知している。関係各所には意見としてつないでいく。意見を受けたからといって出来るものではない。システムの改修は色んなものがかかってくる。今後の設計に生かすという視点で伝えていきたい。

満足な回答は得られず！！現場での検証運動を推し進めよう！！